

乳癌 23a

対象疾患: (HER2 陽性) 乳癌

## 【0223a】PER+HER+DTX 療法【初回用】

※2 コース目以降は「乳癌 23 PER+HER+DTX 療法」を使用してください

## 【投与スケジュール】 1 コース=21 日

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W
ペルツズマブ	パージェタ	PER	初回 840mg/body (2 回目以降 420mg/body)	↓ Day1		
トラスツズマブ	ハーセプチン	HER、Tmab	初回 8mg/kg (2 回目以降 6mg/kg)	↓ Day1		
ドセタキセル	ドセタキセル	DTX、DOC、TXT	75 mg/m <sup>2</sup>	↓ Day1		

## 【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
<b>Day1</b>			
①	生理食塩液 50mL	1 本	ルート確保用
②	パージェタ	840mg/body	60 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
③	ハーセプチン	8mg/kg	90 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
④	デカドロン 3.3mg/1mL	2 本	30 分
	グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1 本	
⑤	ドセタキセル	75mg/m <sup>2</sup>	60 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
⑥	生理食塩液 50mL	1 本	ルートリンス

催吐性	パージェタ: 最小度リスク ハーセプチン: 最少度リスク ドセタキセル: 低リスク
組織傷害性	パージェタ: 非炎症性(メーカー回答) ハーセプチン: 非炎症性 ドセタキセル: 壊死性
代表的副作用	パージェタ: 骨髄抑制、Infusion Reaction、アナフィラキシー、過敏症、間質性肺疾患、左室機能不全 ハーセプチン >10%…Infusion Reaction(約 40%) 1~10%…左室駆出率低下 ドセタキセル >10%…骨髄抑制、悪心嘔吐、脱毛、倦怠感、末梢神経障害、皮疹、爪の変化、感染 <1%…浮腫、体液貯留(胸水など)

**【注意事項】**

(パージェタ)

 前回投与から 6 週以上の時は初回量で行う。

(ハーセプチン)

 初回投与は 90 分投与とし、忍容性が良好ならば、2 回目以降は 30 分に短縮可能である

(ドセタキセル)

 添加物として無水エタノールを含有しない

レジメン登録承認	2018 年 2 月 化学療法委員会(予定)
参考資料	乳癌診療ガイドライン ①治療編 2015 年版